

公的医療機関等 2025 プランについて（地域医療構想関係部分抜粋）

独立行政法人国立病院機構 豊橋医療センター

【地域において今後担うべき役割】（P5）

当院は、地域医療に貢献する総合診療施設として急性期機能等を担っている。

当院としては、今後とも、地域の医療ニーズに応えられるよう、医師・看護師を増やす等して診療機能の充実・強化を図るとともに、豊橋市民病院と連携して、幅広く東三河南部地域及び湖西市等を支える医療を展開していきたいと考えている。

一方、地域医療構想において、東三河南部地域は 2025 年には回復期病床が 979 床不足するとの推計が示されているところであり、こうした状況に対応するために、豊橋市民病院と連携して、急性期を経過し、在宅復帰に向けた医療が必要な患者を受け入れることは、大いに有意義なことであると考えている。

【今後持つべき病床機能】（P5）

東三河南部地域における状況を踏まえ、急性期の一部の回復期病棟への移行を検討する。

【今後の方針】（P6）

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	0	→	0
急性期	348		348
回復期	0		0
慢性期	40		40
(合計)	388		388

【その他の数値目標】（P7）

医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率：85%以上
- ・ 手術室稼働率：2,700件以上
- ・ 紹介率：65%以上
- ・ 逆紹介率：40%以上

